

## 平成24年度活動計画

### 方針

#### 1) 青年団活動を広く県民にアピールする

昨年度に引き続き青年団のアピールを広く行っていきたい。青年団の必要性を訴える意味でも社会活動を取り入れていく。

1日でも早い復興を目指すためにも、人と人との繋がり、地域との繋がりを目的に活動を行っている青年団は、非常に重要な存在だといえる。人と人の繋がりが薄くなってきているからこそ起こる悲惨な事件や地域における文化の衰退等があるのではないだろうか。

青年団のアピールとともに、繋がり的重要性を強く訴えていきたい。

#### 2) 青年団の繋がり強化

上記のことを行っていく上でも、青年団での繋がりには絶対不可欠である。

厳しい状況に置かれているからこそ、繋がりを持って活動に取り組んでいきたい。

そのためにも県青協がオルグに出向き、また加盟団同士での繋がりを強くするための事業展開を行っていく。また、誰もが参加しやすい事業展開を図っていく。

#### 3) 組織体制の見直し

総括でも触れたが、今後県青協が10年先、20年先も存続し活発な活動を行うためにも、組織体制の見直し、新しいシステムの構築は絶対に必要である。しかし、現代に置ける青年団の意義を今一度再確認する必要がある。まずは原点に戻り、青年団の必要性や意義を加盟市町村と共有することを最優先に取り組んでいく。

テーマについては今年度も引き続き

『輝』としたい。

平成24年度テーマ

かがやく

# 輝

～キラリ☆青年団～

※「青年団がもっと輝けるように」という気持ちを込めて、このテーマとしました。

### 1) 第61回宮崎県青年大会

期 日：平成24年9月1日（土）～2日（日）

場 所：宮崎県総合運動公園 宮崎県武道館 他

スポーツを通して各加盟団との交流を深めて連携を強めることや、地域に伝わる伝統文化・芸能の掘り起こしを目的として行っている。

1人でも多くの方に参加していただき、そこで得られた経験を活かして、これからの青年活動を充実したものとしていただきたい。

### 2) 第61回全国青年大会

期 日：平成24年11月9日（金）～12日（月）

場 所：東京都内各会場

日頃の練習の成果を全国場で試し、その中で全国の青年団と交流を持てる大変貴重な大会である。

全国の青年団との交流を通して様々な感動や刺激を感じていただき、それらを地元を持ち帰り、今後の活動に繋げてもらえるよう、多くの参加者を派遣したい。

### 3) 平成24年度MSK教養講座～明日を担う青年リーダー達へ～（宮崎県活動家研修会）

期 日：平成24年6月23日（土）～24日（日）

場 所：未定

新年度に入り役員体制が変わった市町村、青年団活動を始めた方達の交流と研修の場として開催したい。

年度当初にそれぞれの役割、目標をしっかりと定めていただき、今年度の活発な活動に繋がることを期待したい。

### 4) 平成24年度大夜会～もっと語ろう夜会～（宮崎県青年問題研究集会）

期 日：平成25年1月26日（土）～27日（日）

場 所：未定

県内各青年団が集まり、課題や悩みを本音で語り合い、考え、青年団を活気あるものにしていく場である。

年々参加者が少なくなっているため、呼びかけを行い、多くの青年団員に参加していただき、他の青年団の良いところを吸収し、自分達の活動に繋げてほしい。

### 5) お邪魔させていただきます活動（オルグ活動）

加盟市町村に出向き県青協役員と加盟市町村との連携強化を図っていくと共に、意見交換の場としても有効活用していく。

## 6) 平成24年度交流会

県内全域の青年同士の交流・親睦を深める場を設ける。

各加盟団から多くの団員が参加しやすい企画・運営をし、各団員が有意義な時間を過ごせるよう努めたい。

また、各加盟団においては多くの参加者を募り、積極的な参加をお願いしたい。

## 7) 第43回九州青年祭 in 熊本

期 日：未定

場 所：熊本県

九州ブロック青年団（九州管内の青年団の集まり）の事業で、今年度は幹事県である熊本での開催となっている。

九州各県の青年団と交流ができ、様々な意見や情報を共有できる貴重な場である。そこで得られた経験をこれからの青年活動に活かしていただけるよう、できるだけ多くの参加者を募りたい。

## 8) 2012年度宮崎県地域青年実践大賞・2012年度全国地域青年「実践大賞」

県内各地では日々多くの青年団活動が行われている。その形態は地域に元気をもたらすもの、次世代を担う子ども達を育てるもの、仲間同士の連携を深めるものなど様々であり、すばらしい活動が数多くある。1つ1つの活動・実践を数多く集約し、互いに学び合うことにより、よりよい青年団活動に繋げることを目的とする。また特に優れた活動に対し「実践大賞」を授与し、顕彰をおこなう。

昨年度は、美郷町北郷区が「青年見守り隊活動」で準実践大賞を受賞している。自分達の活動を全国にアピール出来る機会でもあるので、本年度も昨年度以上の応募をお願いしたい。

## 9) 第58回全国青年問題研究集会

志を同じくした全国の仲間が集まる場所である。青年は多種多様の活動を行っている。その中で壁にぶつかり、悩むことは誰もが経験するのではないだろうか。全国青研では、そういった悩みを解決するきっかけを得たり、活動に対する意味・意義を再確認出来る場である。慣れない場所へ行くことは不安を感じるかもしれないが、宮崎県を飛び出し、新しい刺激を受けて地元で活かしていただきたい。

## 10) 宮崎県青少年団体連絡協議会

今後のあり方の協議が必要であり、その結果を踏まえての判断をせざるを得ないが、他団体との連携は必要であるため県青協としては今後も引き続き加盟し連携を図っていきたい。

## 11) 北方領土返還要求宮崎県民会議への参加

今年度もキャラバン隊に参加し、この運動を広めていく。問題解決に向けてはまだまだ先が長くなることが予想されるが、運動を止めてしまっても解決は望めない。我々若い世代がしっかり引き継いでいく必要があり、多くの方に発信していきたい。

## 1 2) 情宣活動

### ① 投げ込み

県内各加盟団では、多種多様な様々な活動が展開されている。

その活動を多くの人に幅広く認知してもらうことを目的とし、マスメディア（TV、新聞、ラジオ等）へ積極的な情報の投げ込みを行いたい。

小さな活動でもよい。ぜひ県青協事務局までご一報いただき、宣伝活動に利用されたい。

### ② 県青協ホームページの活用

宮崎県青年団協議会はHPを立ち上げているが、現在更新が止まっている。今年度は県青協の活動報告・申込書の配布など、各加盟団活動の情報を共有する為にも随時更新していけるよう努める。

県青協ホームページアドレス→ <http://miyazakiseinen.com/>

QRコード→



### ③ 日青新聞の定期購読

全国の青年団活動がわかると同時に、地元の活動をアピールできるので、積極的に情報提供をお願いしたい。本年度も各加盟団に定期購読をお願いしたい。

## 1 3) 2012年度全国青年団教宣コンテストへの推薦

教宣コンテストとは、機関紙やホームページなど青年団が情報発信している媒体・グッズのコンテストである。各加盟団が、社会に対する青年団の主張をどの様に効果的に発信していくか、組織強化として団員同士の共通認識をどうすれば得られるかを形にしたものである。

皆さんの日頃の青年活動の成果を全国の青年に報告していただきたい。

## 1 4) 会議

県青協の基幹会議は定期大会の他、代議員会を年3回開催することと規約に定めがある。昨年度は代議員会の開催が難しい状況であったが、今年度は規約にそって会議を開催していく。多くの出席者が集い、活発な議論が展開されることを期待する。

## 1 5) 執行部

県青協規約には、会長1名、副会長4名、常任理事12名、監事3名、事務局長1名の計21名となっている。しかしここ十数年、役員の数員を満たしておらず、十分な県青協運営を行うことが出来ていない。平成23年度は、県青協存続についての話し合いも行った。

各加盟団には、地域団から青協、青協から県青協という繋がりと、自分達の代表ということを知り、役員選出に努めていただきたい。

## 16) 事務局

今年度は、事務局長1名と常勤の事務局員1名で運営を行っていく。皆さんの事務局であるので、青島に来られた際には是非お立ち寄りいただきたい。

宮崎県青年団協議会事務局

〒889-2163 宮崎県宮崎市青島西1丁目11番地

電話番号 0985-65-1013

事務局携帯電話 090-5744-6062

FAX 0985-65-1958

携帯電話メールアドレス m\_seinen\_kendan@docomo.ne.jp

パソコンメールアドレス m\_seinen@d2.dion.ne.jp

事務局勤務時間 9:30～17:30（月曜日～金曜日）

## 17) 団員登録

毎年登録いただいている団員数は、年々減少をしている。県青協の運営を行うにあたって、団員確保は非常に重要である。加えて、会費は数少ない貴重な収入源である。各加盟団においては団員登録を速やかに行っていただきたい。

（登録締切：平成24年7月20日（金）必着）

また、個人会員の登録も認めることとなっている。加盟団の無い地域に在住している者、加盟団の規約によって加盟団に登録出来ない者については、随時登録を行い、少しでも青年団の仲間を増やせるように努めていきたい。

## 18) 財産・予算

県青協の預金・備品・その他の資産管理については、事務局において管理する。

予算については、補助金額が年々少なくなっているが、健全な運営ができるように努めていく。

## 19) 青年会館及び事務局

今年度も事務局用地の無償契約を県と締結した。

現状をふまえながら、今後も県と協議を行う。

## 20) 宮崎県青年団協議会賛助会

賛助会員に対し、県青協運営に資するための賛助会費納入依頼を行っていく。